

第2回佐久地域定住自立圏ビジョン懇談会 議事録

日 時：平成24年2月2日

13:30～14:40

場 所：佐久市役所 8階 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 佐久地域定住自立圏共生ビジョン(案)について

事務局より意見募集の結果を報告(資料2)

事前に意見提出のあった委員より要旨発言(資料3)

| | |
|-------|---|
| (委 員) | 宅建協会佐久支部の中の28社を会員とする「楽園信州さく」というホームページを作成し、リーフレットの作成、土地・建物の紹介などを行っている。昨秋は、東京3か所でも説明会を行い、その結果、土地開発公社の土地や空き家バンクの成約もあった。今後も市と宅建協会の連絡を密に、情報交換をしていきたい。定住自立圏の移住・交流の項目で宅建協会としてお手伝いができると考えている。 |
| (委 員) | ビジョンに加筆した方がよいと思うものとして、佐久の一番の食べ物と言えば鯉、また果物も取り上げてほしい。人口はパーセントで表示してもらった方が分かりやすい。医療の充実、特に在宅医療は充実しているという印象なので、佐久の特徴として記載してよいのではないかと。 施策として取り上げた方がよいものとして、今後、社会的人口減が急速に進むことになるので、市としても対策を講じるべきである。成年後見制度の充実、終末医療、相続・葬儀の問題などに触れていかざるをえないのではないかと。 空き家が増えており、ネズミ・害虫などの被害が出ている。空き家対策を講じないと地域の人困ることになる。 社会的弱者などあらゆる人が自分らしく生きられるような仕組みづくりが必要である。 個々の集落、特に中心地から離れた集落をどうしていくのか、将来を見据えて施策を考える必要がある。 高齢化への対応の一案として、ITを用いた対応はできないか。 交通アクセスについて、松本へのアクセスは今も良いとは言えない。その点についても触れるべきではないか。 |

| | |
|-------|---|
| (事務局) | <p>前回ご提案のあった障害児へのケアについては、福祉・学校教育の分野で支援が有効なものとなるよう努めていきたい。</p> <p>定住促進に関しては、今後も関係団体と連携しながら重点的に推進してまいりたい。</p> <p>ビジョンに加筆すべきものとしてご指摘のあったものについては、資料3のとおり修正を行った。</p> <p>また、各種施策に対する提案については、部会において関係市町村と有効な取り組みがあるか協議し、良いものは取り組んでまいりたい。</p> |
|-------|---|

(2) 意見交換

| | |
|-------|---|
| (委員) | <p>学園誘致を考えているか。受験する大学がなくて地元を離れざるをえない。新規の大学は難しいかもしれないが、既存の大学の新学部や分校の誘致に取り組んでほしい。</p> <p>企業誘致について、ベンチャー企業の育成に関する専門部署があれば、起業相談に応じられると思うが、そのような構想はあるか。</p> |
| (事務局) | <p>定住自立圏のビジョン案では触れていないが、佐久市としては総合計画の後期基本計画で盛り込んでいる。定住自立圏では、圏域市町村の競合もあり、話が進んでいないが、今後も部会で審議してまいりたい。</p> |
| (委員) | <p>人口の表については、年代別の人口比率も必要ではないか。</p> |
| (事務局) | <p>ご指摘のとおりビジョンを修正対応する。</p> |
| (委員) | <p>図書館について、広域化に伴い他市町村の図書館を使いたいという意見が増えている。図書館の活用についてはどのように考えているか。</p> |
| (事務局) | <p>図書館関係者に集ってもらい、図書館ネットワークの構築について部会で検討をしている。</p> |
| (委員) | <p>昨年7月に全県的な自然エネルギー関係のネットワークとして「自然エネルギー信州ネット」が立ち上がり、佐久地域でも協議会を設立し、佐久らしいビジネスモデルを構築していく。定住自立圏の中で環境問題に対し大きな取り組みができるようコンセンサスを図ってほしい。関係団体など多方面から情報を取り込んでもらいたい。</p> |
| (事務局) | <p>環境分野では、ビジョン案に記載したとおり、新エネルギーに関する情報交換・調査研究について行っていく予定である。</p> |

| | |
|--------------|--|
| <p>(委員)</p> | <p>保健・医療・福祉・学校教育は互いに重なり合う分野で、中でも子どもの豊かな発育をどのように考えるかに焦点を当てた方がよい。先日の新聞記事でも、20代の自殺者が増加傾向にあり、自殺対策や子どもの発達支援が必要とされていた。不登校児童への対応に地域で支援するための協議の場が必要と思う。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>定住自立圏の取り組みとして自殺対策、発達支援、不登校対策をうたっており、部会が分かれる部分もあるが、相互に連携し取り組んでまいりたい。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>佐久は厳寒期にスポーツができるところが少ない状態である。佐久全体で全行的なスポーツアリーナがあれば交流人口が増えるのではないか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>各市町村の議会議決を得た取組事項18項目に基づきビジョンができています。スポーツアリーナについては、新たな提案になるため、関係市町村と部会で協議する必要がある。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>「部会」とは何か。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>分野ごとに「保健・医療」、「福祉」、「学校教育」、「産業振興・移住・交流推進」、「環境」、「防災・人材育成」、「交通・情報」、「社会教育」の8部会があり、佐久市の担当部長が各部会を統括し、各市町村担当課が集まった中で、定住自立圏として実施すべき事業について検討を行っている。部会で出された結論に基づき、関係市町村長の了解、各市町村議会の議決を得て協定に盛り込む。</p> |
| <p>(委員)</p> | <p>事業費を計上しているものとそうでないものがあるのはなぜか。</p> |
| <p>(事務局)</p> | <p>事業費が計上されているものは、中心市として佐久市が実施する事業や、各市町村が予算執行するが実施面で協力する事業がある。事業費が0となっているものは、予算は伴わないが、情報交換・研修会・調査研究などを進めるものである。今後、必要に応じて事業費が計上される場合もあり、ビジョンの変更で対応する。</p> |

(3) その他

事務局より事務連絡(来年度の開催予定)

4 閉会